

新沢千塚古墳群公園 活用モデルプラン

1 コンセプト

「悠久の歴史ロマンと四季の移ろいを感じる癒しの交流拠点」

- ・緑豊かな丘に築かれた約 600 基の群集墳からなる新沢千塚古墳群からは、遠くペルシャ地方からシルクロードを通じて日本に渡った副葬品が出土する等、日本を代表する古墳群となっています。
- ・園内は花と緑に囲まれ、サクラ、ツツジ、アジサイ、アヤメ、カキツバタ、モミジの他、里山に咲くササユリも見られ、四季の移ろいを感じることができる公園となっています。
- ・これら歴史性や豊かな自然環境を活かし、市民だけでなく、市外からの来訪者を呼び込むことができる交流の拠点づくりを進めています。
- ・また、シルクの杜の健康増進機能・古墳群の歴史学習機能を活かし、健康づくり・生涯学習・多世代交流に寄与する拠点づくりを進めています。

2 民間事業者に期待するサービス

- ・歴史性や豊かな自然環境を感じることができるサービスを提供する集客施設の整備や博物館との連携・活用も視野に入れたソフト事業の展開
- ・シルクの杜に有する健康増進・生涯学習機能等を活かした、多世代が利用する公園運営戦略

3 導入機能例

- | | |
|------------------------------|--|
| ◆カフェ等の憩いの場の創出 | ◇マルシェの開催
(運営事業者の誘致) |
| ◇古代からの食材や大和野菜の提供
(歴史性を想起) | ◇園内ガイドウォーキングの開催
(歴史・自然環境を活かした健康づくり) |
| ◇ナイトミュージアムの開催
(古墳・博物館と連携) | ◇広場を使った親子イベントの開催
(自然環境を活かした多世代利用) |
- ◆: 収益施設 ◇: 収益事業

4 活用可能区域等

- 提案可能区域
 - ・P-PFI の活用により、民間施設の設置が期待されるエリアは右図の黄色箇所となる。
- その他公園の魅力向上
 - ・提案可能区域以外においても、指定管理と一体となってイベント等ソフト事業の展開を期待する。



5 民間事業者に期待する提案等

◆新沢千塚古墳群公園の歴史性を活かした提案を期待

- ・新沢千塚古墳群公園の歴史的特性を活かした事業提案を期待します。
- ・公園活用にあたって、ソフト事業では、公園全面を活用することが可能となっており、施設整備については、賑わい創出重点ゾーン（桜の広場付近）での施設整備が可能となっています。
- ・公園には史跡指定されているエリアが含まれている他、「貝吹山景観保全地区」内に位置しており、一定基準以上の建築物や工作物等の整備にあたって行為制限があり、櫃原市との相談が必要です。

◆公園内複数施設の活用

- ・公園内には「新沢千塚ふれあいの里」、「シルクの杜」、「ガイドンス施設」等の複数の施設が運営されており、バラエティに富んだ機能を有しています。
- ・「新沢千塚ふれあいの里」は「農事組合法人 新沢千塚ふれあいの里」により管理しています。今回の活用対象からは除くものとしませんが、イベント開催や施設の一部機能の活用等（シャワー、ロッカー等）、連携した取組が可能です。その他施設についても、施設機能を活かした提案を期待します。
- ・縄文時代から江戸時代までの二千数百年にわたる遺跡出土資料を展示する「歴史に憩う櫃原市博物館」が隣接して立地しており、博物館が有する歴史性や学習機能等と連携・活用した取組が求められます。

◆各分野との連携を期待

- ・本市に所在する奈良県立医科大学とまちづくりの連携協定を締結し、MBT 構想（Medicine-Based Town 医学を基礎としたまちづくり）の実現を本市は目指しています。
- ・今後、IoT 技術等を用いた、「健康・医療・衛生」各分野を活用した都市公園の新たな利用方法を検討しています。

(参考) 公園利用者意向調査

利用目的	「健康増進（プール、温浴）」が 40.0%と最も多く、次いで「買い物」が 31.1%である。
よく利用する施設	「シルクの杜」が 57.6%と最も多く、次いで「新沢千塚ふれあいの里」が 35.6%である。
利用頻度	「週に 1～2 回以上」が 37.5%と最も多く、次いで「はじめて」が 22.3%である。
滞在時間	「1 時間～3 時間」が 46.2%と最も多く、次いで「30 分～1 時間」が 28.8%である。
導入施設の需要	「カフェ・レストラン」が 53.4%と最も多く、次いで「ショップ（売店・産直野菜等）」が 48.1%である。
導入サービスの需要	「食事系イベント（ご当地グルメ等）」が 56.1%と最も多く、次いで「古墳群解説ツアー（専門家・学識者の開設）」が 36.9%である。
居住地域	「櫃原市内」が 62.8%、「櫃原市外」が 37.2%である。
性別	「男性」が 43.5%、「女性」は 56.5%である。
年代	「60 歳以上」が 64.1%と最も多く、次いで「50～59 歳」が 15.8%である。
来訪手段	「自家用車」が 74.4%と最も多く、次いで「自転車」11.0%である。
同行者	「家族（夫婦、子供、両親、その他）」が 44.2%と最も多く、次いで「なし」が 41.0%である。